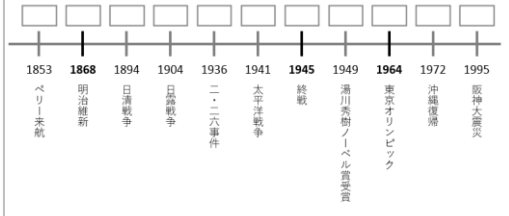
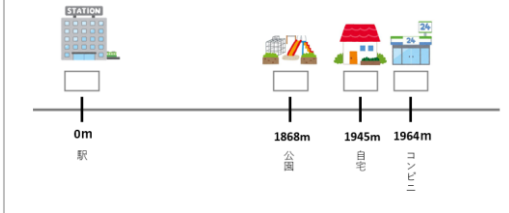


おすすめICT活用事例のご紹介

区分	学年	教科	単元等	活用ソフト	
中	1	数学	正負の数の計算（加法、減法）	プレゼンテーションアプリ	
授業内容	2つの視点で、数直線上の2つの数の隔たりから正の数・負の数の減法の意味を考えよう			活用ツール	テキスト入力
	準備： ・ワークシート用ファイルを準備する。 ・ワークシート用ファイルを課題として子供たちにコピーを配付する。			【ワークシート1】年表の問題	
	授業の流れ： 1. グループのなかで、正の数・負の数の減法の「年表の問題」に取り組む人、「距離の問題」に取り組む人に分かれて、各自で問題を解く。 2. グループのなかの、同じ問題を解いた人たち同士でどのように考えたのかを話し合う。 3. グループのなかで、もう一方の問題を解いた人達に説明する。 4. 「正の数・負の数をひくには、符号を変えた数をたせばよい」ことを自分の言葉で説明して、全体で意見を共有する。			<div><p>年表で、明治維新から東京オリンピックまで何年あるか計算してみよう。 1945年を原点として、□に正負の数を入れよう。</p></div> 【ワークシート2】距離の問題	
				<div><p>公園からコンビニまで何mあるか距離を計算してみよう。 自宅を原点として、□に正負の数を入れよう。</p></div> <p>イラスト出典：いらすとや https://www.irasutoya.com/</p>	
ICT利活用のポイント		年表の問題と距離の問題、どちらの問題も同じ数字で考えるため、子供たちが取り組みやすい問題を自分で選ぶことができます。グループ全員で距離の問題に取り組む⇒年表の問題に取り組むという活動にすることもできます。			
おすすめポイント		ワークシート例をお使いいただけます。			